

Shopifyで コマースは さらに高速に

Shopifyサイトのスピードと
コンバージョン率の高さの秘密



コンテンツ

01

エグゼクティブサマリー

→ 3ページ

02

優れたコマー環境の
実現における現状の課題

→ 5ページ

03

Shopifyの強固な
インフラストラクチャを支え
る技術基盤

→ 8ページ

04

サイトスピードが
コンバージョン率に
与える影響

→ 12ページ

05

Shopifyでサイトスピードと
コンバージョン率を
向上

→ 14ページ

06

サイトスピードがわずか
0.5秒改善されるだけで
ビジネスが飛躍的に成長

→ 16ページ



01

エグゼクティブ サマリー

0.5秒と聞いてもそれほど長い時間には感じませんが、Eコマースの世界ではそれが利用者にとって大きな違いとなる場合があります。このわずか0.5秒がコンバージョンとカスタマージャーニー全体に劇的な影響を与える可能性があることが、Shopifyのデータと調査から判明しています。

サイトスピードの遅さが影響を及ぼすのは純利益だけではありません。顧客と収益を失うだけでなく、問題の原因となっているさまざまな課題の解決に取り組む必要があるため、エンジニアたちがイノベーション実現に集中できなくなります。ウェブサイトのパフォーマンスが向上することで、貴社のような企業ではウェブサイトにおける自律性が向上し、研究開発リソースを基盤プロジェクトに再配分できるようになり、本当の意味で自社のビジネスを差別化できるようになります。

Shopifyでは、お客様に複雑な操作をしていただくことなく済むようにすることを開発哲学の柱としています。Shopifyではこの哲学を何よりも大切にしており、弊社の取り組みが現実世界の公開データによって実証されていることを誇りとしています。

以下は、そのデータの一部です。

1.8倍

Shopifyストアは世界最速で、処理速度は他のプラットフォームのストアと比較して1.8倍となっています。

93%

Shopifyを使用している企業の93% (その他の主要コマースプラットフォームよりも多い割合) が、高速なストア運営を実現しています。

0.5秒

サイトスピードを0.5秒改善するだけでコンバージョンが増加する可能性があります。

本ガイドでは、サイトを高速化することでコンバージョンがどのように向上するかを紹介します。さらに、サイトの構築に必要な時間とリソースを削減する最高クラスのインフラストラクチャを基盤として、Shopifyがマーチャントにコマース業界最速サイトの提供を可能にしている秘密を説明します。



本題に入る前に：本ガイドでは、高速なウェブサイトを実現している技術の核心部分について説明します。技術的な側面よりもサイトスピードが純利益に及ぼす影響にご関心がある場合は、[こちらをクリックするかタップして、該当するセクションまでスキップしてください。](#)

方法論と定義

結果をお見せする前に、分析の指針として使用した方法論の内訳と、本レポート全体で使用しているいくつかの業界標準の定義を紹介します。

- **本レポートはGoogleが公開しているデータをベースにしています。** Googleでは、ウェブサイトのスピードデータを実際のユーザーから集計しており、パフォーマンス (Core Web Vitals、略称「CWV」) を測定するための業界標準の方法の一部として公開しています。
- Shopifyストアが世界最速であるという当社の主張は、すべての収益バンドとすべての主要コマースプラットフォームをサンプリングしたうえで、約20万のサイトにおよぶGoogle Core Web Vitalsの公開データを基に計算されました。
- 今回の調査のサンプルサイズには、Shopify上にネイティブに構築されたストアフロントのみが含まれています。本レポートでは、Shopifyサイトのデフォルトのスピードに焦点を当てるため、ヘッドレスビルドは分析から除外されています。一方で、当社のヘッドレスツールスイートは、エンタープライズレベルのブランドによる最高クラスのカスタム体験の構築を可能にします。

20万

当社の主張を計算および立証するために使用したサイトの数

今回の調査では、以下の2つの指標に基づいてホームページのパフォーマンスを分析しました。

Time to First Byte (TTFB) :

本レポート全体を通じて「サーバー」スピードとしているTTFBは、ウェブサイトをホストしているサーバーがお客様のブラウザに応答するまでにかかる時間を指します。TTFBは、基盤となるインフラストラクチャの品質の主な指標となります。

First Contentful Paint (FCP) :

本レポート全体を通じて「サイト」スピードとしているFCPは、ページの最初の要素 (テキストや画像) がユーザー側に表示されるまでにかかる時間を測定した数字です。

ご覧のように、今回はLargest Contentful Paint (LCP) ではなく、Core Web Vitals指標の1つであるFCPを使用しています。LCPも重要ですが、遅いテーマや豊富なサードパーティプラグインなどの要因に大きく影響されるため、サイトスピードのベンチマークとして使用することは不適切 (そして不公平) です。



02

優れたコマース環境の 実現における現状の課題

コマースの成功には高速なウェブサイトが不可欠であるという点については、世界中のすべての小売業者が同意するでしょう。問題は、それを支えるインフラストラクチャの構築が依然として大きな課題であることです。世界各地の最も経験豊富なCTOやCIOにとって、サーバーインフラストラクチャが頭の痛い問題となっている要因は以下の2点です。

①

サーバーインフラストラクチャの
コスト上昇

②

イノベーションスピードの維持

サーバー インフラストラクチャの コスト上昇

一部の企業では、よりモダンなサーバーインフラストラクチャを構築するというビジネスケースがあまり注目されていない場合も考えられます。技術系以外の経営幹部もサイトスピードが重要だという点にはほぼ同意するでしょうが、サイトスピードを上げるとコストも**上昇**します。サイトを稼働させ続けるために人材を雇用し、その人材を維持するにもコストがかかります。

ITインフラストラクチャは大半のDTC小売業者にとって最大の支出であり、そのコストはここ数年着実に上昇しており、止まる気配はありません。2020年時点で、クラウドサービスのコストは世界中の情報技術 (IT) 支出総額のわずか9.1%でしたが、最近のBLSデータによると、この数字が2024年までに14.2%まで上昇すると予測されています。

クラウドサーバーが企業に広く利用されるようになり、コストの大幅な削減が約束された2006年を振り返ってみましょう。特にECサイトで処理する必要があるトラフィック量を考えると、オンプレミスソリューションを構築するよりもクラウドを利用した方がはるかに安くなります。しかし、過去数十年間の結果からわかるように、クラウドサーバーのセットアップと維持管理には依然として多大なコストがかかります。



14.2%

ITの総支出のうち
クラウドサービスが
占める割合
(2024年の予測)

価格モデルはベンダーによって異なり、ビジネスニーズに応じて変動しますが、一般的な中堅企業の場合は、CDNとホスティングの費用だけでも月額料金が簡単に最大10,000ドルに達する可能性があります。ただしこれには、極めて重要なツールでありながらコストが高い、SplunkやDatadogなどの必要不可欠なサードパーティモニタリングサービスが含まれていません。

もちろん、コストはCDNに送信するトラフィックの量によって異なりますが、そのすべてに対して料金が発生します。こうした現状を受け、多くの企業では、自社のウェブサイトで驚くほど大幅な妥協をすることで月々のコストを削減しようとしています。多くのパフォーマンスエキスパートは、サイト全体で商品画像のサイズを小さくすることから始めます。これによりサイトスピードが向上し、コストを削減できる可能性はありますが、特にこうした妥協を必要としないShopify上の小売業者を競争相手とする場合は、これが大きなデメリットとなります。

技術環境を構築した後は、文字通り上級レベルの人材を配備する必要があります。ただしその全員が、人材市場で高額の給与を得ています。2024年のインフラストラクチャエンジニアの平均給与は106,000ドル強です。これを一般的なインフラストラクチャ組織図に当てはめると、このような人材を獲得するためのコストはすぐに膨れ上がります。

サーバーインフラストラクチャを必要最小限の人数で支える場合でも、次のような人材が必要になります。

担当業務	平均給与
CDN責任者またはネットワークエンジニア	122,796ドル
セキュリティ責任者	147,426ドル
運用責任者	109,739ドル

注：これらの数字は、Glassdoorの公開データに基づく平均給与です。これらのポジションに必要な上級レベルの候補者の実際の報酬は、経験年数、必要なスキル、勤務地によって異なります。

この表に対する最初の反応は2つに分かれます。1つ目が、「これが本当に必要最低限のチームだろう」という反応です。2つ目が、「いずれにせよこうしたスタッフは必要ではないか？」というものです。大半のケースではその通りです。しかし、Shopifyを利用する小売業者が、社内に技術者を配備することなく、GMVが最大1,000万ドルの中規模市場レベルの組織にまで成長した例を私たちは見てきました。

イノベーション スピードの維持

大多数の企業は、Eコマースにおいて最先端のイノベーションを維持する方法を模索しています。しかしこれよりさらに多くの企業が、これを行うにはコストがかかるだけでなく、継続するのが難しい、ということ把握しています。博士レベルの数学者でさえも、ネットワークレイテンシをわずかに改善することが困難であることを証明しています。そしてテクノロジーリーダーたちは、自分たちの不満を躊躇することなく率直に語っています。

Lenovoの調査では、CIOの57%が、ゼロかやり直す機会が与えられれば、自社の現在の技術環境の半分以上を置き換えると回答し、25%はそのほとんどまたはすべてを置き換えると回答しました。各社では、こうしたニーズに対して、レガシーシステムの大半を廃止して最初から構築し直すことで対処しています。そしてその多くの企業が、インフラストラクチャのすべてのニーズをShopifyに任せることでこれを実現しています。



57%

ゼロからやり直す機会が与えられた場合に、
自社の現在の技術環境の半分以上を置き換える
と回答したCIOの割合

25%

自社の現在の技術環境のほとんどまたは
すべてを置き換えると回答したCIOの割合

Shopifyがプラットフォームインフラストラクチャにこれほど多額の投資を行ってきたのは、ビジネスの拡大に必要なコストやリソースに関するお客様の懸念を排除するためです。Shopifyを利用することによってお客様は、サイトやサーバーインフラストラクチャの構築（および再構築）に労力を費やすのではなく、自社の顧客により多くの価値をもたらすプロジェクトに、より多くの時間と余剰予算を割り当てるのが可能になります。





03

Shopifyの強固なインフラ ストラクチャを支える技術基盤

最低TTFB

1.99秒

平均TTB

1.4秒

Shopify

0.51秒

Shopifyの全プランが自社サーバーのみでホストされており、世界各地の複数の最大手小売業者において十分なスピードと信頼性が証明されています。GoogleのCore Web Vitalsによると、平均的なShopifyサイトのTime to First Byte (TTFB) またはサーバースピードは0.51秒です。他社のコマースプラットフォームの平均TTFBは1.4秒で、最低クロックインは1.99秒です。

”

つまり、Shopifyのサーバーはコマース業界で最速 (平均で2.8倍高速、最大で3.9倍高速) ということになります。

これらはサーバースピードにおける驚くべき違いであり、Shopifyのイノベーションと実験に対するアプローチによって実現されました。ここからは、クラウドインフラストラクチャを最新化するための大規模な投資と、業界パートナーとの既存の関係からの構築という、2つの要素が重要であることがわかります。

クラウド インフラストラクチャを 最新化するための 継続的な投資



\$93億

2023年の
ブラックフライデー・
サイバーマンデーセールの
売上高



35%

昨年Shopifyサイトは
35%高速になりました。

Shopifyでは、クラウドサーバーの利用環境を拡大するために巨額の投資を行いました。これは3つの点で最も顕著に表れています。北米で築き上げてきた確固たるプレゼンスを補完するべく、Google Cloudサーバーの利用環境を欧州各国にまで拡大しました。その結果、サイトを処理するサーバーとユーザーとの距離が近くなり、自社の顧客とビジネスとの距離も短くなりました。さらに、300を超える場所にCloudflare CDNを導入しています。

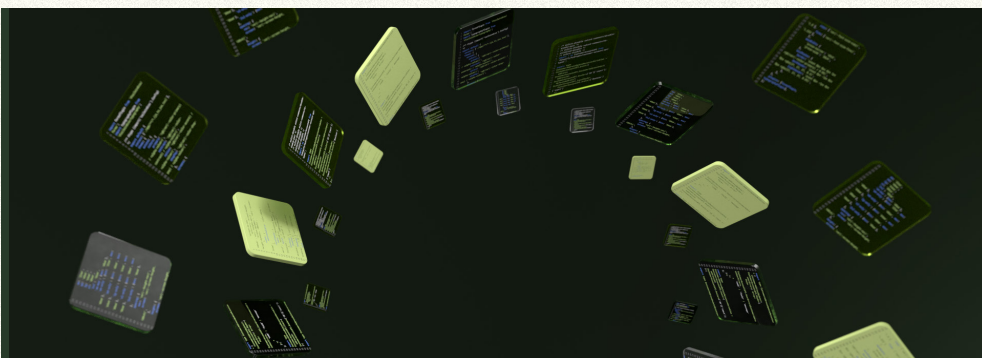
こうした投資は日常レベルでもマーチャントにメリットをもたらしますが、そのメリットがこれまで以上に顕著になったのが2023年のブラックフライデー・サイバーマンデーウィークエンドです。世界中の6,100万人を超える消費者がShopifyを利用しているブランドから購入し、売上高は93億ドルに達しました。Shopifyは、フラッシュセールを実施する販売者からも選ばれており、史上最大規模のセールをも支援しています。Shopifyはこのような成果を積み重ねながら、百戦錬磨のインフラストラクチャとしての地位を確固たるものにしてきました。

クラウドベースサーバーの規模を拡大する一方で、昨年はShopifyサイトのスピードが35%高速化されたことを発表しました。この飛躍的な高速化の主な要因となったのが以下のような取り組みです。

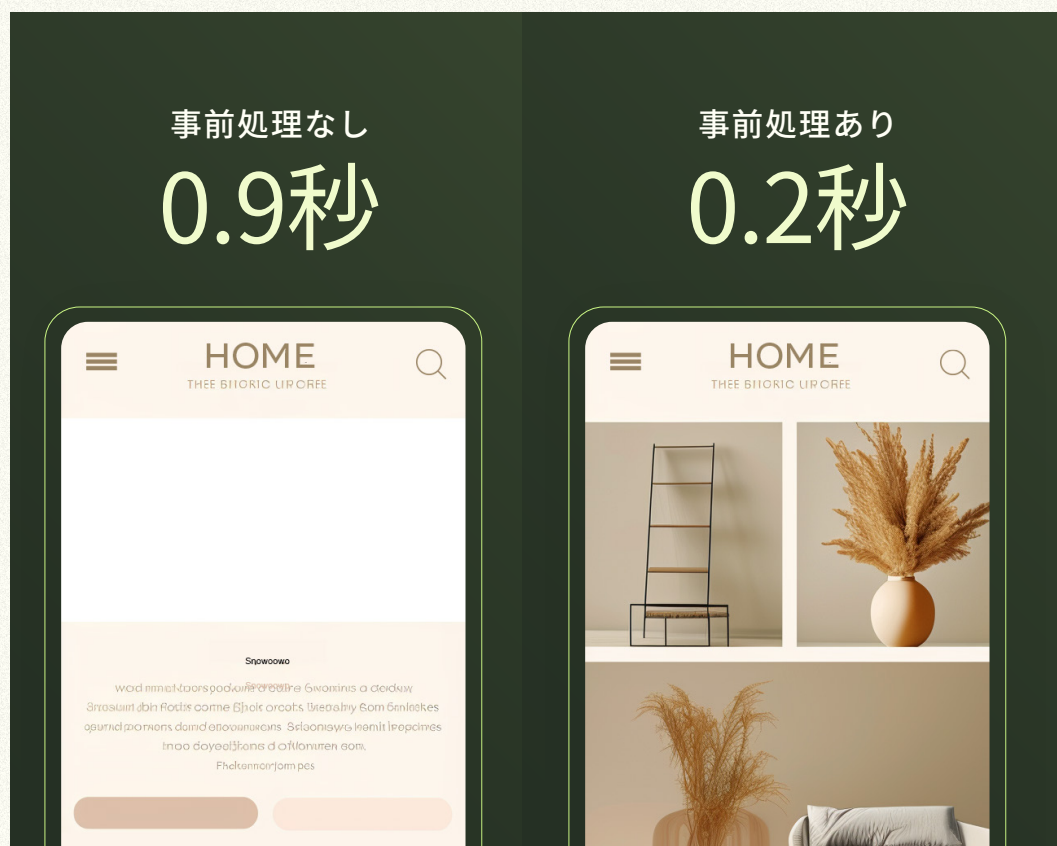
- ① ホスティング環境が統合され、cdn.shopify.comを使用するのではなく、固定コンテンツでもマーチャントのストアフロントと同じドメインを使用できるようになりました。
- ② テーマセクションとブロックを使用することにより、ページ上の位置に応じてインテリジェントに遅延読み込み手法を適用できるようになりました。
- ③ 固定コンテンツが、ストアフロントと同じホスト名でホストされるようになりました。Shopifyが設立された当初、ブラウザにとってのベストプラクティスは、画像、JavaScript、CSSなどの固定コンテンツをcdn.shopify.comなどの専用ドメイン上でホストすることでした。

業界パートナーとの 関係

マーチャントのウェブサイトをさらに高速化するべく、Shopifyではパートナーと提携する方法を常に模索しています。最近では、Google Chromeと協力してShopifyのサイトにSpeculation Rulesを実装する取り組みを始めました。Google Chromeでは、ユーザーが検索バーにURLやキーワードを入力した場合や、ウェブサイトがSpeculation Rules APIを使用して、事前処理するページをChromeに指示するその他の条件が満たされた場合は、ページが事前処理されます。



こちらの画像からも
わかるとおり、
Speculation Rulesでは
メディアが驚くほど充実した
ウェブサイトをはば
リアルタイムかのように
レンダリングできます。



ShopifyサイトにおけるSpeculation Rulesの広範囲なテストは現在も続いています。対象サイトを限定してこの機能をすでに有効化しています。Speculation Rulesを有効化した時点で、処理時間がすでに200~300ミリ秒改善されています。

これはShopifyの継続的なイノベーションに対するコミットメントの一例に過ぎません。24年冬Editionsでは、企業のコマースビジネスを強化することを目的とした、100を超える新たな基本製品のアップデートを発表しました。今年の夏には150を超える新機能を発表する予定です。

Shopifyサイトがコマース業界で最速であることを報告できるのは嬉しくもありませんが、限界に挑み続けることが重要であるとも考えています。また、お客様に驚くほど高速なウェブサイトを提供するべく、Shopifyではインフラストラクチャのテストと改善に関する新たな方法を常に模索しています。

さらに、企業と協業しているパートナーで構成された大規模なネットワークと手を結びながら、特に技術スタックの進化と複雑さの増大に合わせたサイトスピードの最適化に取り組んでいます。



そのようなパートナーの一例としてCQLをご紹介します。同社では、Shopifyを利用している企業が以下のようなさまざまなパフォーマンス分野を最適化できるようサポートしています。



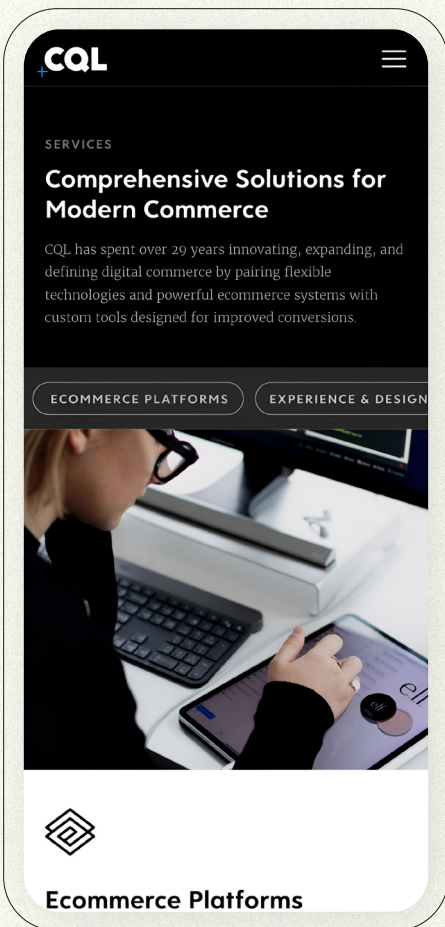
画像とメディアの最適化と優先順位付け：Shopify CDNとレスポンシブベストプラクティスを活用することで、お客様は最も印象に残るメディアを簡単に手に入れることができます。



外部サービスのスクリプトとプラットフォーム間での操作への注力：単体でも威力を発揮する素晴らしいツールが、エコシステム内でも最高のパフォーマンスを発揮できます。



既存のセクションとカスタマイズ内容の見直し：Shopifyの新機能を活用すると同時に、進化し続けるパフォーマンス基準にも対応できます。



CQLのチームは、Shopifyに移行した後に、GoogleのCore Web Vitalsを基準にパフォーマンス目標を設定することで、SEOに関する大きなメリットが自社のクライアントにもたらされたと言っています。また、Shopifyの信頼性の高いホスティングインフラストラクチャのおかげで、開発者たちが、サイトスピード向上プロジェクトの支援に新たな形で関与できるようになったとも話しました。

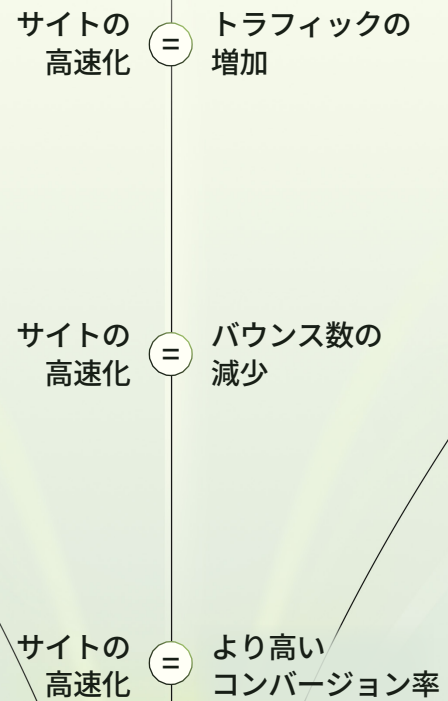
04

サイトスピードが コンバージョン率に 与える影響

これまでの説明で、Shopifyのサーバーインフラストラクチャがコマース業界でトップクラスであることはおわかりいただけたかと思います。これが純利益に及ぼす影響についてはまだ説明していませんでしたが、その影響は絶大です。

ここまでは、サイトスピードをミリ秒の観点から説明してきました。経験の浅い利用者は大半のサイトが十分なスピードで読み込まれていると感じますが、一見してわずかな改善でもコンバージョンには劇的な効果があります。サイトスピードがわずか0.5秒速くなるだけで、コンバージョン率が向上する可能性があることが、Shopifyのデータと調査から判明しています。Shopifyのサイトスピードが平均1.2秒である点もここで触れておきます。

サイトスピードの高速化がコンバージョン率の向上に直結するということは、それほど驚くような事実ではないかもしれませんが、しかし、サイトスピードと密接に関係するメリットは他にもあります。最終的には、ユーザーを引きつけ、維持し、購入者に変える能力に影響が及ぶのです。



サイトスピードがSEOに及ぼす影響

Googleは2010年、自社の検索ランキングアルゴリズムの新しいシグナルとして、サイトスピードを採用することを発表しました。同社は以下のように説明しています。



サイトスピードが速いほどユーザーの満足度は高くなります。また、サイトスピードが遅いと利用者のサイト滞在時間が短くなること、社内調査で明らかになっています。

Googleがこのアルゴリズムのアップデートを発表して以来、これが事実であることが繰り返し証明されてきました。検索ランキングが下がると、それに連動してウェブサイトのトラフィック量も減少します。最終的には、サイトに訪問してくれたユーザーがお客様になってくれる可能性が下がってしまうこととなります。

インターネットユーザーの忍耐力がかつてないほど弱くなっていることも、調査から明らかになっています。Semrushは先日、ページの読み込み時間が3秒を超えると、バウンス率(最初のページだけを見てサイトから退出したユーザーの割合)がほぼ3倍になることを発表しました。たとえば、2秒の場合のバウンス率は41%です。1.5秒の場合のバウンス率は35%です。

ページの読み込み時間が長いほどバウンス率が高い

ページの読み込み時間	バウンス率
1~3秒	+32%
1~5秒	+90%
1~6秒	+106%
1~10秒	+123%

出典：Semrush

一方、利用者がShopifyサイトにアクセスした際に収集されたGoogle CWVデータをShopifyで分析したところ、サイトスピードが0.5秒上がるとバウンス率が改善することが判明しました。ここからは、Shopifyに乗り換えることでコンバージョンがどれほど改善されるかについて詳しく説明します。

05

Shopifyで サイトスピードと コンバージョン率を向上



それではここで、なぜ自社のサーバーインフラストラクチャの管理をShopifyに任せた方が良いのかという、最大の疑問にお答えしましょう。

答えは2つあります。「お客様に代わってサーバーインフラストラクチャを常に最先端の状態に維持する」というShopifyのコミットメントは、他社には真似ができないというのが1つ目の答えです。さらに重要なのは2つ目の答えです。Shopifyストアが世界最速であることはデータから明らかになっており、そのスピードは信じられないペースで今も加速しています。



Shopifyストアの表示速度は、他社のプラットフォームのストアよりも平均で**1.8倍高速**であることがわかっています。またFCPデータからは、Shopifyを利用しているブランドのうち、Googleが「高速」カテゴリーに分類しているウェブサイトを持つブランドが93%にのぼることが明らかになっています。これは他のどのプラットフォームよりも高い数値です。

スピードが0.5秒上がるだけでコンバージョンが改善される点については繰り返しお伝えしてきましたが、Shopifyに移行することで簡単にこれを実現できたビジネスの事例はいくつもあります。

その一例がMolekuleです。同社のチェックアウトページのロード時間は、以前のプラットフォームでは1分以上にまで延びていました。しかしShopifyに移行して以来、同社ではサイトスピードとコンバージョン率の両方が大幅に向上しています。



Shopifyに移行したことで、Eコマースのパフォーマンスが大幅に向上し、定期購入収益の成長が見事に改善しました。今では、Eコマースの複雑な部分をShopifyが代わりに管理してくれるので、当社のチームは、技術的な課題の解決、製品イノベーションの促進、Molekuleアプリを通じたお客様への優れた価値の提供に、集中して取り組むことができます。

Rachel Beisel氏、
Senior Vice President of Marketing、
Molekule



06

サイトスピードが わずか0.5秒改善されるだけで ビジネスが飛躍的に成長

数字はうそをつきません。Shopifyサイトがコマース業界において大差を付けて最速であることは、公開されている大量のデータからも証明されています。さらに、所在地に関係なくすべてのユーザーにとって快適なウェブサイトを構築できる、業界をリードするインフラストラクチャが大きな要因で、Shopifyサイトはデフォルトでも高速となっています。

Shopifyに移行した直後にサイトスピードが向上したブランドの例だけで、本レポートの複数のページを埋めることができたほどです。サイトスピードは徐々に改善されたのではなく、一気に向上しました。たとえば、Transformer Tableでは、Shopifyに移行したことで年間売上高が1億ドルを超えるまでに成長しました。同社はその成功の主な要因として、サイトスピードが67%向上したことを挙げています。

Shopifyに移行すると、高速なコマースウェブサイトを短期間で立ち上げるための道筋が明確になります。ウェブサイトが高速になるだけでなく、短期間で収益が上がり、最終的には、設立時に目指していた理想の会社にまで進化することができます。



Shopifyのサイトスピード監査で、
ご自身のサイトスピードを判定してみてください。

